



# 2011年1月・2月勉強会です!



## 10年目は「基本のき」から

### —尿失禁、頻尿のアセスメント—症例から学ぶ観察ポイント—

2002年に始まった排泄ケア研究会の勉強会。一番最初の勉強会では「尿失禁の基本」について、タイプ、症状の起きる病態、治療やケアの種類について解説しました。今年は、10年目ということで、今一度基本に立ち返って「尿失禁・頻尿のアセスメント」を復習します。

「尿が漏れる」「尿が近い」という症状は非常に頻度が高く、日常の現場でも悩む方は多いものです。ただ、単に漏れるといってもすべてが同じからくりで起きているわけではありません。対処を間違えると、とんでもないことになることも...

「尿が漏れます」という訴えをどうやって評価し、原因を解明するか? ごくごく基本の知識から、実際の症例をもとにした「盲点、落とし穴」の見分け方まで、基本から応用までのおさらいです。

非会員の方でも1000円で聴講が可能です(事前申込不要)。